



『緑内障患者の疾患マーカー解析』で
ボランティアとして研究に協力して下さった皆さまへ

「遺伝性角膜変性症患者の疾患マーカー解析」の研究における
血液由来試料の使用についてのお知らせ

京都府立医科大学眼科では、京都府立医科大学倫理審査委員会より審査・承認を受けて「遺伝性角膜変性症患者の疾患マーカー解析」を行なっています。本研究では、遺伝性角膜変性症の患者の方のゲノム情報を網羅的に調査することで、疾患と強く関連する遺伝要因を見つけ出すことを目的としています。疾患に深く関わる遺伝子変異が見つければ、それを疾患マーカーとして詳細な遺伝形式、症状の進行速度、重症度、視機能予後の予測などの研究が進み、さらには新薬の開発などに応用できる可能性があります。

当科の実施する研究にボランティアとして血液サンプルの収集に協力いただいた方で、「緑内障患者の疾患マーカー解析」の研究協力に同意をいただき、その中で患者様の試料・情報が保存され、本学医学倫理審査委員会の承認を受けた新たに計画・実施される遺伝子の解析研究に使用されること（二次利用）に同意をいただいている場合、以下のように、本研究において、ゲノム DNA などの血液由来試料を使用させていただくことがあります。

遺伝性角膜変性症に関わる遺伝要因の解明のために、本学眼科学および共同研究者の本学ゲノム医科学にてヒトゲノム DNA 解析を行う際に、比較対照検体としてゲノム DNA 情報を用いることがあります。その際、情報として、性別、年齢、診察時の臨床所見および各種検査値を用います。患者さん（もしくは代諾者）が血液由来試料・ゲノム情報の二次利用をご了承いただけない場合は、研究対象にはいたしませんので、下記連絡先に 2020 年 3 月 31 日までにお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

「遺伝性角膜変性症患者の疾患マーカー解析」の現在の研究責任者は本学眼科学・教授・外園千恵です。遺伝子解析研究への二次利用の際の血液由来試料とゲノム情報の管理責任は本学ゲノム医科学・教授・田代啓が行います。

2019 年 11 月 27 日

研究実施責任者
京都府立医科大学 眼科学
教授 外園 千恵

連絡先

京都府立医科大学 眼科学
教授 外園 千恵 電話：075-251-5578（平日 10:00～16:00）